兵庫県立いなみ野特別支援学校　あおの訪問学級通信

わかくさ

R2.3.17
発行
第376号

ご卒業おめでとうございます

兵庫県立いなみ野特別支援学校長　川口　あづさ

やわらかい風が優しい春を感じさせる良き日。小学部６年生、中学部３年生、高等部３年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。みなさんは、それぞれの学部の課程を修了し、めでたく卒業を迎えられました。本当に素晴らしいことだと感じています。

ここまで、いろいろな先生や病院スタッフのみなさん、そしてご家族の方々に支えられ、しっかりと学習に取り組んできました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、短い授業時間ではありましたが、先生方の創意工夫と君たちのがんばりで、充実した授業ができました。ありがとう。授業では、それぞれの課題に向き合って、先生と一対一での真剣勝負でしたね。しっかりと課題に向かう姿はかっこよく、明るい笑顔や雰囲気に心が温かくなりました。また、今年度はできませんでしたが、昨年度までのグループ学習では、グループの仲間とともに互いを意識し合い、楽しく授業に取り組むことができたと聞いています。

小中学部のみなさんは、４月からはそれぞれ中学部、高等部への進学です。また、高等部のみなさんは、社会人としてこれからの人生を歩まれます。これからもそれぞれのステージにおいて、もっともっと人のつながりや広がりを感じ、人の中で豊かに生きて行かれることを大いに期待しています。君たちのこれまでのがんばりに、大きな拍手を送るとともに、次のステージへのエールを送ります。卒業おめでとう！！

さて保護者のみなさま、本日は誠におめでとうございます。お子さんが歩まれたこれまでの日々を思い、感慨もひとしおかとご推察いたします。今日までの日々において、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございました。これからも引き続き本校をよろしくお願いします。

最後になりましたが、病院スタッフの方々から本校にいただいておりますご支援に対しまして、厚くお礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援と協力を賜りますようお願い申し上げます。

４月の予定（現時点での予定です）
８日（木）着任式・始業式　　１４日（水）入学式　　１５日（木）離任式

西3病棟

２・３月は、節分、ひな祭り、卒業生に向けて花の飾り作りをしました。西３の２人は、２月生まれでお互いにビデオメッセージを送り、誕生日を楽しみにしていました。誕生日会では、病棟のスタッフの方にお祝いの言葉をかけてもらったり、友だちや教師からメッセージを聞いたりすると、うれしそうにしていました。ケーキにつけたバニラの香りを嗅ぎ、お祝いの歌や季節の歌を聞くと、柔らかな表情で大きく手を動かしていました。節分では、手作り鬼を手やボールで退治し、ひな祭りでは、花紙、千代紙、毛糸を使ってつるし雛を作りました。

西2病棟

２月といえば節分です。西２病棟にも鬼がやってきました。張りぼての豆やボールを、投げたり転がしたりして、鬼退治をしました。また、無病息災を願って恵方巻づくりをしました。具材を乗せて巻きすで巻き、おいしそうな恵方巻を作ることができました。野菜を切ったり、塩コショウをしたりしてハンバーグやカレーといった、調理の疑似体験を行った生徒もいます。また、雛祭りに向けて、着物を身に着けてお雛様に扮したり、紙粘土をこねてひな人形を作ったりもしました。とてもかわいらしく出来上がりました。

東3病棟

春になろうとしていても、まだまだ寒い２月です。東３の児童生徒たちは、節分や雪、みかんなど様々な学習に取り組みました。ボウリングのピンやくす玉を鬼にした鬼退治遊びをしたり、画用紙、毛糸などの感触を味わいながら鬼の制作をしたりと、節分行事を満喫しました。また、雪が降る日には、雪にみたてた雪玉を手のひらや頬などで感触を味わいながら雪だるまを作りました。さらに、冬の果物と言えば伊予かんということで、伊予かんの収穫体験を楽しんだ後に、香りを匂ってリラックスしました。

東2病棟

２月は、節分やバレンタイン、卒業式に向けた制作などに取り組みました。節分では大きな鬼を退治したり、恵方巻を紙や不織布で作ったりしました。これで東２にも「福」がやってくるでしょう。バレンタインデーには、日ごろの感謝をこめて、病棟の看護師さんにあてて、４人でバレンタインカードの共同制作をしました。それぞれが、日頃の「ありがとう」の気持ちを伝えることができました。東２病棟は２月が誕生日の友だちが２人いました。
学校の授業でも誕生会をして、友達や教師からお祝いのメッセージをもらってニコニコでした。